

教科「芸術」の学び方(美術)

教育目標

美術の幅広い創造活動を通して、美的体験を豊かにし美術を愛好する心情を育てるとともに感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし美術文化について理解を深める。

具体的な目標

絵画、彫刻、デザインの制作を通して、造形要素の理解を深め、表現能力を高める。

学び方

- ① 単元の課題を明確化し、作品の構想を練る。
- ② 時間の配分を考え、授業中に完成する。
- ③ 単元ごとの授業の成果としての作品を振り返り反省し、次回課題の制作のステップとする。
- ④ 日本や諸外国、各時代の芸術作品を鑑賞し、自分なりの意見を述べたり、他者の意見と比較することで、理解を深める。

美術の作品は空間表現ではあるけれども、作品が完成するまでの経過は音楽と同じように時間の芸術でもあります。一瞬で作品ができないことが特性でもあります。授業時間での積み重ねが実習の授業ではなにより大切です。